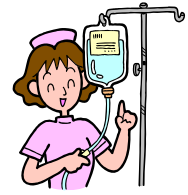


第9回 INみさと協立病院

看護師



復職支援セミナーニュース

発行：セミナー実行委員会

2009年10月31日（土） 第9回「看護師復職支援セミナー」をみさと協立病院で開きました。

今回は、第7回に参加した方が1名ですので、ご本人が希望する研修を積極的に取り入れたものにしたと準備を進めました。

オリエンテーション

血糖測定風景



部長からの挨拶で、今回の研修を機会にとにかく1歩前に進みましょう。今日はじっくりと研修や懇談をと就職に向けた働きかけを行いました。

参加者が1名ということもあり、今回は小淵副総看護師長とみさとの実行委員の原田さん、石川さんが業務をはなれもっぱら指導に入る体制を作って迎えました。

直接指導にあたった、みさと協立病院3南病棟主任 原田 梢さんは「女性は妊娠・出産を期に離職してしまう。そこから復職を考えると、ブランクに大きな不安が出てくるが、復職支援セミナーを通し、自信につながったり、また同じく妊娠・出産を経験し、育児をしながら働いているスタッフとの交流もあれば、復職に向けての後押しができるのではないかと感じた。今回の方の場合は、まだ子どもが小さく、保育園や学童の利用を考えていない。協力してくれる親も近くにいないし、ご主人の協力も得られにくい・・・

働きたい気持ちはあるが、働くならきちんと責任を持って働きたいという方なので、今回のようなつながりを大切にしていけば、今すぐには無理でも、あと何年か後には復職していただけるのではないかと思った」と感想文を寄せてくださいました。

中村さんの感想では、「ゆっくりのペースで実習でき、今後の復職のプランニングの参考になる」「同じことの繰り返しを体験していくことで自信につながればいい」「働く場所、時間、家族のことなど、まだ整理しきれないでいる」

とにかく、1歩踏み出すために「週1日でも2日でも」「いつでも体験に応じますよ」など積極的な働きかけを行いセミナーを。終了しました

実行委員の方、当日ご協力いただいた職員の方お疲れ様でした。

引続きセミナーの成果を東葛病院7:1維持に生かします